

平成 29 年度名古屋大学大学院博士課程（後期課程）
土木系プログラム外国人留学生募集要項
（10 月入学）

平成 29 年度名古屋大学大学院博士課程（後期課程）の土木系プログラム（英語による教育で学位が取得できる教育プログラム）の外国人留学生を下記により募集します。

アドミッションポリシー

アドミッションポリシーについては、「全学のアドミッションポリシー」

（http://kouho-en.adm.nagoya-u.ac.jp/about_nu/declaration/policy/index.html）を参照してください。

I. 出願資格

本プログラムに出願することができる者は、次の 1 から 3 のいずれかの出願資格を有する者とします。

1. 日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）であって、外国において修士の学位を授与された者及び平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに授与される見込みの者
2. 日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）であって、外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者等で、我が国の大学院（博士前期課程）を修了した者及び平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに修了見込みの者
3. 日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）であって、本学大学院において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

【注】

- (1) 上記 3 で出願しようとする者は、各募集区分の出願締切日の概ね 1 ヶ月前を目途に、「IX. 問合せ先」に申し出て、所定の申請手続きを行ってください。
- (2) 土木系プログラムへの申請者は「アジアと日本の共発展のための社会基盤整備人材育成プログラム」による奨学金を希望することができます。同奨学制度へ応募するための資格等については下記の Web を参照してください。なお、出願時に日本国内にいる者、もしくは出願時から平成 29 年(2017 年)9 月 30 日までの期間に日本国内にいる予定のある者が、同奨学金を希望する場合は、出願前に「IX. 問合せ先」に連絡し、出願資格の有無を必ず確認してください。

URL: <http://www.civil.nagoya-u.ac.jp/forefront/Index.htm>

II. 出願要件

英語以外を主要言語として教育する大学において教育を受けている者にあつては、次の要件のいずれか一つを満たしていること。ただし、英語を母語とする者、及び英語を主要言語として教育する大学において教育を受けた者は、これを免除します。

- (1) TOEFL - 80 iBT; 550 PBT 以上
- (2) IELTS -総合バンドスコア 6 以上
- (3) 上記と同等以上の英語能力があることを証明する成績

【注】(3) で出願を希望する場合は希望指導教員へ事前にその旨を連絡してください。

Ⅲ. 募集人員

プログラム名（研究科名）	募集人員
土木系プログラム（工学研究科）	若干名

Ⅳ. 出願手続

1. 出願前の注意

Web (URL: <http://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp>) で専攻・研究室（グループ）・研究分野・研究内容及び教員一覧を参照し、志願票には志望する専攻，研究室（グループ），教員名を必ず第2希望まで記入してください。

○出願前の研究内容等に関する問合せについて

出願の前に博士論文の研究指導を希望する教員へ研究内容等について問い合わせをしてください。少なくとも第1希望の教員には必ず連絡を取ってください。

研究内容等を問合わせた結果，本学へ出願することとした場合は，下記の〈出願書類提出先〉に，すべての出願書類等(検定料含む)を，募集区分により定められた期限までに提出してください。

なお，出願書類等の ii， iii， v については必ず原本を提出してください。

(※事前の研究内容照会の際に，研究室又は希望指導教員に提出した書類がある場合でも，その書類を正式な出願書類としては流用できませんので注意してください。)

○研究内容以外の問合せについて

研究内容以外の問合せについては，「**Ⅸ. 問合せ先**」へ照会してください。

2. 出願期間

下記の出願期間中に，出願書類を提出し，検定料を支払ってください。

募集区分	自	至
1次募集	平成29年(2017年)1月6日 9:00(日本時間)	平成29年(2017年)1月30日 16:00(日本時間)
2次募集	平成29年(2017年)5月1日 9:00(日本時間)	平成29年(2017年)5月25日 16:00(日本時間)

(1) 上記の1次募集，2次募集への出願については，どちらか一方しか出願できません。

(2) 1次募集の出願期間に，検定料の支払い及び出願書類が揃わなかった場合は，2次募集の区分での取り扱いとします。

(3) 上記(2)の場合は，その取り扱いをしたことを e-mail でお知らせします。

(4) 「アジアと日本の共発展のための社会基盤整備人材育成プログラム」による奨学金への申請は1次募集でのみ可能です。

3. 検定料の支払い及び出願書類提出方法

出願に当たっては，指定の方法に従って，必要書類を提出し，検定料の支払いを締切までに行ってください。

書類作成の際には，表下にある【注】に留意してください。

<検定料支払い方法>

検定料：5,000円

オンラインアドミッションシステムから、PayPal（推奨）または銀行送金で支払ってください。
検定料の振込み手数料は振込者負担となります。

【注】

- (1) 検定料は、出願書類の受領後の確認、選抜等のためのものであり、いったん大学に納入された検定料は、返還しません。
- (2) 本学大学院研究科博士課程の前期課程（修士課程）を修了し、引き続き本課程に進学する者及び本研究科に在籍する国費外国人留学生は検定料を要しません。
ただし、本研究科の正規課程在籍者は、出願期間中に「修了見込証明書」を国際アドミッションオフィスに提出する必要があります。（国際アドミッションオフィスへの「修了見込証明書」の提出をもって、出願書類の受付が可能となります。）
また、本研究科に在籍する国費外国人留学生は、出願期間中に「国費外国人留学生証明書」（原本）を国際アドミッションオフィスに提出する必要があります。（国際アドミッションオフィスへの「国費外国人留学生証明書」（原本）の提出をもって、出願書類の受付が可能となります。）
- (3) 我国の他大学大学院から受験する国費外国人留学生は、検定料は要しませんが、「国費外国人留学生証明書」（原本）を出願期間中に国際アドミッションオフィスに提出する必要があります。（国際アドミッションオフィスへの「国費外国人留学生証明書」（原本）の提出をもって、出願書類の受付が可能となります。）

<提出先>

オンラインアドミッションシステム：URL: <http://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp>

郵送先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 国際機構本部
国際アドミッションオフィス

E-mail: apply@g30.nagoya-u.ac.jp

	出願書類等	注意事項
i	志願票	本学オンラインアドミッションシステムより提出してください。
ii	出身大学（学部及び修士課程）の卒業（修了）証明書（又は見込証明書） （原本提出のこと）	証明書（見込証明書）には、学校の公印、もしくはサインが必要です。 * 出願資格に関連する証明書を提出してください。
	出身大学の学部及び修士課程の学業成績証明書 （原本提出のこと）	成績証明書には、学校の公印、もしくはサインが必要です。 あわせて、成績評価基準書を提出してください。
iii	英語資格試験の成績通知書 （原本提出のこと）	英語資格要件を満たす成績通知書を提出してください。 テスト実施機関から、締切までにオフィシャルスコアが直接届くよう手続きをしてください。（名古屋大学国際プログラム群の機関コードは、TOEFLについては 7256 です。） * なお、すべての試験において、平成 27 年 1 月以降に受験した試験のスコアのみを有効とします。
iv	研究提案	大学院での研究提案（A4 用紙 2 枚程度）
v	推薦書 2 通 （原本提出のこと）	推薦者 2 名から、署名の上、厳封した推薦書を直接本学に郵送してもらってください。推薦者の一人は所属大学等の研究科長レベル以上としてください。もう一名は自身の指導教員もしくは職場の上司などとしてください。また、推薦書は所定の様式をオンラインアドミッションシステムもし

		くは下記の Web よりダウンロードの上、様式に沿って作成してもらってください。 URL: http://www.civil.nagoya-u.ac.jp/forefront/Index.htm
vi	修士学位論文の要旨	修士学位論文の要旨を本学所定の用紙 (URL : http://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp からダウンロード可能) に英文で記入の上、アップロードして提出してください。現在、研究を遂行中の場合は、進捗状況や予想される結論について記入してください。また、すでに完成した修士論文がある場合は、論文のコピーもアップロードして提出してください。ただし、論文本体は英語で執筆されている必要はありません。
vii	代表的な発表論文	ある場合は、代表的な発表論文の別刷 3 点以内をオンラインアドミッションシステムにアップロードして提出してください。
viii	その他アピールできる点に関する書類	ある場合は、オンラインアドミッションシステムにアップロード、もしくは郵送にて提出してください。
ix	国籍及び在留資格を確認できるもの	国籍及び在留資格を確認できるものとは、例えば、パスポートの (写)、在日公館の証明書 (英語で作成されたものとし、これらの言語以外の場合は訳文を添付してください。) 等です。また、日本に住所がある場合は、在留カードの写しも必ず提出してください。
x	日本政府 (文部科学省) 奨学金留学生申請書	「アジアと日本の共発展のための社会基盤整備人材育成プログラム」による奨学金を希望する者は所定の申請書を当該プログラムの Web よりダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送にて提出して下さい。申請書には健康診断書が含まれます。申請書は 12 月下旬に公開予定です。 URL: http://www.civil.nagoya-u.ac.jp/forefront/Index.htm なお、上記奨学金を希望しない者は同申請書を提出する必要はありません。

【注】

- (1) 出願に要する書類等の全てを締切期日までに受領した場合に限り、出願を認めます。書留速達郵便又はそれと同等の航空宅配便 (例えば、Federal Express, DHL, UPS, 等) によって送付することを推奨します。なお、提出された書類等に不備がある場合には、出願を認めません。また、出願を受領した後の出願書類等の変更は認めません。
- (2) 発行機関である学校又は当局は、英語以外の言語で作成された全ての書類を英語に翻訳し、原本と同じであることを保証する必要があります。学校又は当局がこれを行わない場合は、外部の翻訳機関に依頼して翻訳・確認された書類を、発行する学校又は当局が同じであることを保証する必要があります。また、翻訳前の元の書類と同等性が保証された翻訳書類の両方を提出してください。
- (3) ii の証明書において、科目名、成績評価等が符号、略字等により表示されている場合は、説明書を添付してください。
- (4) 応募者の GPA を適切に評価するために、ii の成績評価基準書には、学部および修士課程の両方に対する明確な評価基準 (例: S=90-100, A=80-89, B=70-79, C=60-69) の記載が必要です。もし評価基準がなく、素点だけがある場合には、満点および最低点に関する情報が求められません。
- (5) いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しません。ただし、再発行ができない出願資料等は、依頼があれば返却します。その旨記載してください。
- (6) 志願票はじめ出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

- (7) 検定料納入後に出願書類を受け取ったことをオンラインアドミッションシステム上のメッセージ送信機能によりお知らせします。メッセージが確認できない場合は、国際アドミッションオフィスまでシステム上のメッセージ機能を利用してお知らせください。
- (8) 本学大学院博士課程（前期課程）から引き続き博士課程（後期課程）に志願する者は、ixを提出する必要はありません。

4. 障害のある者等の出願

障害のある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ相談してください。（提出書類は、英語で作成すること）

① 相談の時期

平成 28 年（2016 年）11 月 18 日まで

② 相談先

名古屋大学 国際機構本部 国際アドミッションオフィス

③ 相談の方法

以下の 3 点の書類を提出してください。なお、必要に応じて、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- 1) 出願予定のプログラム、志望専攻、障害等の状況、受験上の配慮を希望する事項等に志願者本人の連絡先を記載したもの（様式は自由、用紙はA 4 サイズ）
- 2) 障害等に関する医師の診断書又は、ソーシャルワーカーの意見書など。（いずれの場合も写しでも構いません。）又は身体障害者カード等それに準ずるものの写し。
- 3) 出身学校関係者の添え書（学校における修学状況及び学習上の配慮状況等を記載したもので、様式は自由、用紙はA 4 サイズ）

④ その他

受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までにお問い合わせください。

V. 選抜方法

1. 入学者の選抜は、1次審査（書類審査）及び2次審査（面接：日本在住でない場合は、原則として、インターネット・スカイプ等を利用したインタビュー）にて行います。
2. 1次審査（書類審査）の結果は出願した研究科から e-mail により通知します。
3. 1次審査（書類審査）合格者に対しては、2次審査（面接）の日程もあわせて出願した研究科から e-mail により通知します。
4. 2次審査（面接）は、専門分野の基礎的な知識に関する口述試験を含みます。

VI. 合格者発表

下記の表の選考結果通知期日に「志願票」に記載された情報に基づいて郵送及び e-mail により出願した研究科から受験者に通知します。また、合格者はオンラインアドミッションシステムにログインして確認することもできます。

なお、ウェイトリスト者には e-mail により別途通知します。

募集区分	選考結果通知期日
1次募集	平成 29 年（2017 年）3 月 31 日
2次募集	平成 29 年（2017 年）7 月 11 日までに適宜知らせます。

VII. 入学手続き

入学手続きに関する書類は、合格通知書と一緒に合格者あて送付しますが、次の納入金が必要となりますので、ご承知おきください。

なお、本学大学院博士課程（前期課程）を修了し、引き続き本研究科博士課程（後期課程）へ進学する者は、入学料の納入は不要です。

また、土木系プログラム独自の「アジアと日本の共発展のための社会基盤整備人材育成プログラム」を含め、国費外国人留学生に採用された場合は、入学料及び授業料は免除されます。

1. 入学料 282,000円

入学の権利を得るための入学料は、合格通知書とともに送付する入学手続要領を参照のうえ、下記の日時までに払い込んでください。

募集区分	入学料払い込み期限
1次募集	平成29年（2017年）4月19日16:00（日本時間）
2次募集	平成29年（2017年）7月18日16:00（日本時間）

【注】

- （1）入学時までに入学料の改定が行われた場合には、新たな入学料額が適用されます。
- （2）入学料は、合格通知書とともに送付する入学手続要領を参照の上、所定の期限までにPayPal（推奨）または銀行送金で支払ってください。振込み手数料は振込者負担となります。
- （3）納入済みの入学料は返還しません。
- （4）なお、所定の期限までに払い込まない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱いますので、十分に注意してください。

2. 入学料以外の学生納入金（予定額）

プログラム	授業料	学生教育研究災害傷害保険料 (学研災付帯賠償責任保険を含む。)
土木系プログラム	前期分 267,900円 年 額 535,800円	3,620円（3年間）

【注】

- （1）入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。
- （2）授業料は、入学後に納入してください。
- （3）その他、入学に必要な手続の詳細は、入学手続要領を参照してください。

3. 出願時に修士の学位を授与される見込みの志願者に対する注意

出願時に修士の学位を授与される見込みの志願者は、平成29年（2017年）8月1日までに、学位（修了）証明書及び学業成績証明書を当該学校から名古屋大学に提出してください。

なお、上記期日までに証明書の提出ができない場合は、事前に「VIII. 問合せ先」まで連絡してください。

VIII. その他

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき、適切に管理します。
2. 出願時に得た住所、氏名、生年月日、その他の個人情報については、入学者選抜、合格者発表、入学手続業務を行うために利用します。
3. 出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の資料の作成のために利用します。また、入学者についてのみ①教務関係（学籍・修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
4. 募集要項中に記載されている日時は、いずれも日本標準時 JST（UTC+9:00 時間）とします。

IX. 問合せ先

海外からの問い合わせは Fax かメールにてお願いします。

【工学研究科】

〒464-8603

名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科留学生係

電話：+81-52-789-3563

Fax：+81-52-789-3979

E-mail：admin-eng.g30@engg.nagoya-u.ac.jp

注) オンラインアドミッションシステムの操作に関する質問は下記までお願いします。

【名古屋大学 国際機構本部 国際アドミッションオフィス】

電話：+81-52-747-6556

E-mail: apply@g30.nagoya-u.ac.jp